

研修報告書（研修費）

平成31年2月8日

長久手市議会議長
川合 保生 様

長久手市議会議員 ささせ 順子 ㊞

政務活動費を充てることができる経費の範囲の運用指針により次のとおり届け出ます。

年 月 日	平成31年1月10日（木）から 平成31年1月11日（金）までの 2日
研 修 先	主催 公益社団法人 全国市町村国際文化研修所 テーマ 「市町村議会議員研修（2日間）防災と議員の役割」 会場 全国市町村国際文化研修所 （行程表は別表のとおり）
成 果	別紙のとおり
経 費	金 18,970円（政務活動費対象経費） 金 18,970円（全体経費） （明細は別添のとおり）
提 出 資 料	○領収書の写し

※研修を実施した後は議長に1カ月以内に提出するものとする。ただし、1カ月以内が翌年度の4月20日を経過する場合は20日までとする。

行程表

平成 30 年度市町村議会議員研修〔2 日間〕防災と議員の役割

平成 31 年 1 月 10 日（木）

10:21 発のぞみ 211 号 10:55 着 11:11 発 11:25 着 12:30 から 17:30
藤が丘駅 → 名古屋駅 → 京都駅 → 唐崎駅 → 全国市町村国際文化研修所
地下鉄 新幹線 JR 湖西線 徒歩

平成 31 年 1 月 11 日（金）

9:00 から 15:00 15:18 発 15:33 着 15:56 発のぞみ 32 号 16:31 着
全国市町村国際文化研修所 → 唐崎駅 → 京都駅 → 名古屋駅 → 藤が丘駅
徒歩 JR 湖西線 新幹線 地下鉄

費用明細

藤が丘 ⇄ 名古屋	600	地下鉄	} 11,070 円
名古屋 → 唐崎	2,590	乗車券	
名古屋 → 京都	3,410	(新幹線特急券 指定席)	
唐崎 → 名古屋	2,590	乗車券	
京都 → 名古屋	2,480	(新幹線特急券 自由席)	
研修費	7,300		
計	18,970		

議員個人研修報告書

ささせ 順子

公益社団法人 全国市町村国際文化研修所主催「市町村議会議員特別研修（2日間）

防災と議員の役割」を下記日程にて参加しましたので報告いたします。

○日程 平成31年1月10日・11日

○会場 全国市町村国際文化研修所

○プログラム

①「地域防災力を向上させるために」

講師：東京都立大学・首都大学東京 名誉教授

明治大学 研究・知財戦略機構 研究推進委員 中林 一樹

②「平時の防災～マネジメントを中心に～」

講師：跡見学園女子大学観光コミュニティ学部

鍵屋 一

○所 感

講座は2日間に渡り、座学とワークショップの2段形式で行われました。いつ、大災害が起きてもおかしくない現代に於いて、長久手市に起こりうる2つのパターン「複合災害・同時対応型」と「広域巨大災害・同時被災・同時対応型」で、議員として、発災した時にどのような行動をすることが可能なのか、また、議員に何を市民が求めているのかについて、他市の議員と真剣に意見を交わし合い、共に深く考える機会を与えて頂きました。

先ず何よりも大切な事は「自分の身を守り、家族を守る」という点であると知り、深く納得致しました。怪我をせず、生き延びる事が出来た人でなければ、共助は出来ないという当然の事に加えて、「自分は大丈夫」という根拠のない自信と油断のようなものを持っていた点にも気づかされ、市民の共助力の重要性を語る前に、まずは一人一人の自助力を強化してゆくことが、まちを守る第一歩なのだと理解できました。

その上で、超・高齢化社会の到来により、現在4345万人いる要配慮者が、支援可能者と反比例して増加の一途を辿るため、南海トラフ地震では1人の支援可能者が2人の要配慮者を支えなければならなくなるとの予測データを確認し、「如何に被災市の中で自立・自助が出来るかが最大の取り組みになる」との講師の言葉に深く納得させられました。

また、これからの高齢化社会では「自助できる人数割合を増やし、『支援する側』をどのように増やすか」が大きな鍵として、「災害時は、70歳を高齢者と呼ばない健康都市・大和」の考え方を学びました。高齢者こそ災害時に備え、自助を実践しなければならない時代であるため、自助力を地域にどれだけ残し、強靱化できるかを競う位の意識で防災力を高める努力が求められると確信致しました。

更に、平時から想像力を駆使して防災力を高め、災害時の被害を最小限に食い止める事で、「復興を早める」事を目指すと、その余裕が新たなまちづくりを早める事を可能にするため、平時にリスクマネジメントを市がどこまで真剣に考え備えておくことができるのか、これらは私ども議員の提案力にもかかってくる事ではないかと理解し、更なる自己研鑽が必要だと感じました。

今回この講座を受講し、あらゆるリスクへの想定を超えたところに、まずは自助力向上の徹底と周知が長久手市に必要であると理解いたしました。また、私ども議員は災害時、「勝手に動き過ぎない」「市職員の邪魔をしない」という内容が多く議員間の共通意見として挙がりました。

まずは一市民として自助に徹する事、そして第二段階として議長・副議長を中心に全議員が団結し、地域や避難所等での手伝いや、情報収集等に徹する事を共通目標とし、平時の備えにラインやSNSで繋がっておく必要性についても学ばせて頂きました。

発災確立80%とされる南海トラフに対し、市民の皆様の役に立てるよう、本講座での学びを活かして、更なる議員力と防災力の向上を図って参ります。

